

開講年次・時期	2年前期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	演習	単位数	1単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NK220	科目名	保育内容表現の指導法	担当者名	泉谷千晶
授業の概要	幼稚園教育において育みたい資質・能力を理解し、幼稚園教育要領に示された当該領域のねらい及び内容について背景となる専門領域と関連させて理解を深めるとともに、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付ける。				
科目の到達目標	(1)幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、各領域のねらい及び内容を理解する。 (2)幼児の発達や学びの過程を理解し、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付ける。				
DPの観点	②表現力(10) ④協調性(20) ⑥専門知識・技能(40) ⑧実践力(30)				
授業時間外学修(予習・復習)	毎回の授業内容の予習・復習(60分)を行う。				
フィードバックの方法	ロイロノート等を活用し行う。				
単位認定の要件	授業における提出物、制作物、発表への取り組みを重視する。 ※欠席した場合は、資料を用いて補習し、授業内での提出物などは次回の授業までにロイロに提出すること。				
評価の方法・割合(%)	全授業を通じた学びの過程の評価 60%(ミニテスト2回・ミニレポート2回・指導案提出(各10%)、発表2回(各5%) 最終レポートによる学びの成果の評価 40%				
履修上の注意事項	授業での資料の配布及び課題提出については、主にロイロノートを使用する。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			領域「表現」のねらい及び内容について	⑥	ミニレポート(1)
2			幼児の発達・学びの過程について	⑥	ミニレポート(2)
3			幼児期の表現活動と小学校の教科との連続性	⑥	ミニテスト<1>
4			手足・身体を用いた総合的な表現活動の実践	④	ポートフォリオ①
5			表現を育てる保育者の役割(レッジョ・エミアの幼児教育実践)	⑥	ミニテスト<2>
6			様々な素材を用いた表現活動の事例	④	グループワーク
7			表現における情報機器及び教材の活用法について	②	グループワーク、発表【1】
8			自然や自然物を用いた幼児の総合的な表現活動の実践	②	ポートフォリオ②
9			表現活動の事例から	⑥	ポートフォリオ③
10			身近な素材を用いた幼児の総合的な表現活動の実践	④	グループワーク、発表【2】
11			総合的な表現活動を実践するための教材研究	⑧	ポートフォリオ④
12			五感を使った総合的な表現活動	⑧	グループワーク
13			総合的な表現活動を実践するための指導案作成	⑧	指導案の作成
14			総合的な表現活動の実践についての振り返り	⑧	模擬保育 指導案の提出
15			保育における表現活動と評価について	⑥	指導案のフィードバック、コミュニケーションカード
期末試験			レポート課題の提出とする。		

使用テキスト	「コンパス音楽表現」駒久美子・味府美香編(建帛社)
参考文献 参考URL	保育所保育指針(厚生労働省)、幼稚園教育要領(文部科学省)、 幼保連携型認定こども園教育・保育要領(内閣府)
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容の順序が変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--